本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

2063・2065*JA
USER'S GUIDE

CASIO

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)

⃠記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。



※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用下さい。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



製品仕様

水晶発振周波数： 32,768Hz

精　　度： 平均月差±15秒以内

表 示 方 式： FE型液晶デジタル表示

基 本 機 能： 月・日・曜日、時・分・秒、午前（A）／午後（P）／24時間制表示、フルオートカレンダー（1995～2039年）

ミックス機能： アレンジ曲（3曲）、リズム（16種類）、テンポ（60～200：10単位）、フレーズ（10種類）、曲名入力機能、アレンジ判定機能

アラーム機能： 時刻アラーム　5本
セット単位＝時・分
アラーム音＝プリセット曲（3曲）、電子音（20秒間）、アレンジ曲（3曲）
時報　毎正時に電子音で報時
アラーム音確認機能

ストップウオッチ機能： 計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

そ の 他： 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、メロディ報知機能

主要回路素子： 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップ　CMOS-LSI

使 用 電 池： CR-1620（電池別途販売）

電 池 寿 命： 約18ヶ月
（電子音20秒間／日、ライト1回（3秒間）／日
ミックス機能1回／週使用した場合）

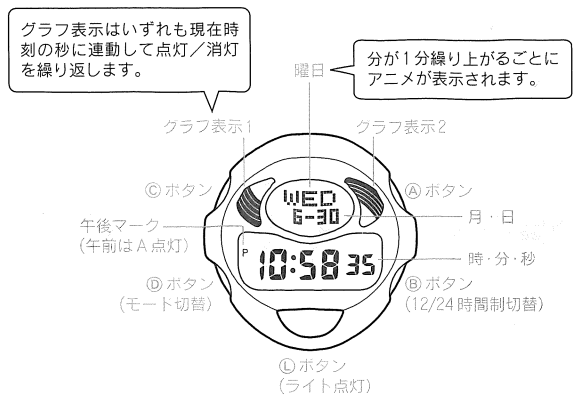
※ただし、ライトまたはミックス機能の使用条件により電池寿命が短くなることがあります。

- 1日当たりミックス機能1回使用　：約16ヶ月
- 1日当たりライト5回（15秒間）使用　：約12ヶ月
- 1日当たりライト10回（30秒間）使用　：約 8 ヶ月

操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード



★メロディ報知機能

Ⓐボタンを押すと、あらかじめ内蔵されているプリセット曲(3曲)とミックスモードで登録されているアレンジ曲(3曲)の中からランダムに1曲報音します。

※報音中にいずれかのボタンを押すと音が止まります。

※報音中はダンス・演奏アニメが表示されます。

(ダンスアニメ　：11種類の組み合わせ
演奏アニメ　：ギター、キーボード、コンガ演奏の中からランダムに1つ表示)

★12/24時間制表示切替

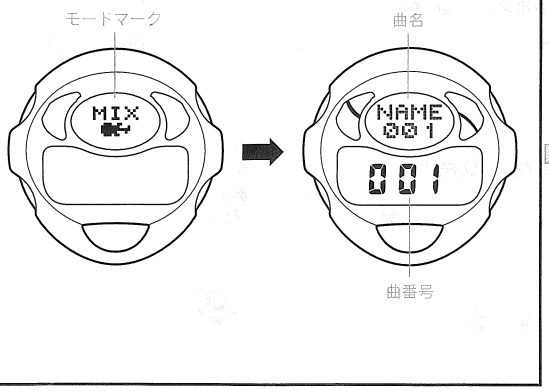
Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示(午前A／午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

(曜日の見方)

SUN：日	MON：月	TUE：火	WED：水
THU：木	FRI：金	SAT：土	

Ⓓ

ミックスモード



Ⓓ

アラームモード



Ⓓ

ストップウオッチモード



ライト点灯について

・時刻モードのときは、

Ⓛボタンを押します

➡ 約3秒間文字板が発光します。

※ 発光中は曜日3文字が回転します。

<時刻モード>



・ストップウオッチモードのときは、

Ⓐボタンを押します

➡ 約3秒間文字板が発光します。

<ストップウオッチモード>



ご注意

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

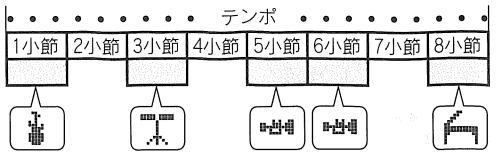
ミックスモードの使い方　Ⓓボタンを押して、ミックスモードにします。

■ミックスモードについて

ミックスモードでは、自由にアレンジしたオリジナルのメロディを３曲登録することができます。なお、アレンジしたメロディをアラーム音として使うことができます。（「アラームの使い方」参照）

★お好きな「リズム」と「テンポ」を選び、「フレーズ」を自由に重ねて、２つのパートからなる８小節のメロディを作ります。

＜例＞



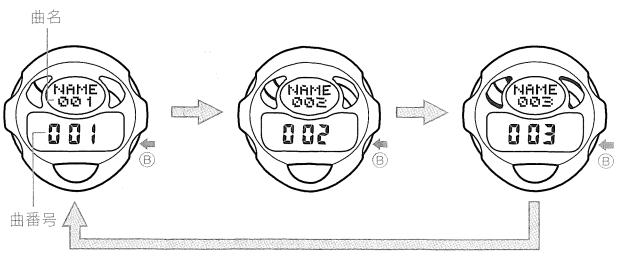
※「リズム」..... マンボ、ロックなどのリズムで8小節奏でられます。(16種類)
「フレーズ」..... エレキギター、ピアノなどの各楽器をイメージした１小節からなる楽句。(10種類)
※１つの「リズム」に４種類の「フレーズ」を重ねることができます。
※内蔵の「リズム」「フレーズ」以外の新しいメロディを作曲することはできません。

■アレンジ曲を探す

ミックスモードのとき、Ⓑボタンを押します

➡「アレンジ曲1→2→3→アレンジ曲1…」の順で表示が切り替わります。
※アレンジをしていないときは曲番号が曲名として表示されます。

＜曲番号表示＞



■アレンジをする

1. リズムとテンポを設定する
アレンジするメロディの基本となるリズムとテンポを決めます。

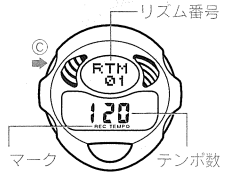
2. フレーズを設定する
Ⓐ Ⓑ Ⓛ Ⓓボタンにそれぞれフレーズを記憶させます。

準備 ミックスモードのとき、Ⓑボタンを押して、登録先(曲番号１～３)を表示させます。
※アレンジ操作の途中で２～３分間ボタン操作を行なわないと、自動的にミックスモードの＜曲番号表示＞に戻ります。このようなときは、もう一度操作をやり直してください。

1 Ⓒボタンを約１秒間押し続けます

➡ ＜リズム･テンポセット表示＞になります。
※このとき“REC”マークが点灯します。

＜リズム･テンポセット表示＞



2 リズムを選ぶ

Ⓐボタンを押します

➡ Ⓐボタンを押すごとにリズムが切り替わりますので、お好きなリズムを選びます。
※Ⓛボタンを押すと、リズムを試しに聞くことができます。(いずれかのボタンを押すと音が止まります。)



01：16ビート	09：カントリー
02：ニュージャックスイング	10：スイング
03：マンボ	11：ハウス
04：ロック	12：R＆B
05：ボサノバ	13：ソウル
06：バラード	14：オリエント
07：サンバ	15：ヒップホップ
08：レゲエ	16：テクノ

3 テンポを選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとにテンポが１０単位で進みますので、お好きなテンポを選びます。
※テンポは60～200の範囲で選ぶことができます。
※各リズムごとにあらかじめおすすめのテンポになっています。なお、テンポ設定後に他のリズムを選ぶと、設定したテンポはおすすめのテンポに戻ります。
※Ⓛボタンを押すと、テンポを試しに聞くことができます。(いずれかのボタンを押すと音が止まります。)

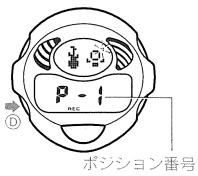


1 リズム・テンポを選びましたら、

Ⓓボタンを押します

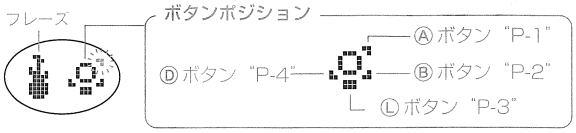
➡ ＜フレーズセット表示＞になります。

＜フレーズセット表示＞



★表示の見方

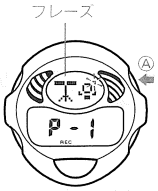
画面左のマークは、フレーズを示しています。
画面右のマークは、時計本体のボタンポジションを示しています。



2 フレーズを選ぶ

Ⓐボタンを押します

➡ Ⓐボタンを押すごとにフレーズが切り替わります。
※Ⓛボタンを押すと、フレーズを試しに聞くことができます。(いずれかのボタンを押すと音が止まります。)



エレキギター	ティンバレス	トランペット	ピアノ	マラカス
ベル	シンバル	ヴァイオリン	アコーディオン	木琴

3 セット箇所を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとに、点滅箇所が移動してボタンポジションが替わります。セットしたい箇所を選びます。

上記2～3の操作を繰り返して、Ⓐ Ⓑ Ⓛ Ⓓボタンにそれぞれフレーズを記憶させます。



■アレンジ曲を聞くには

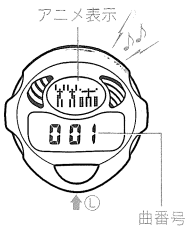
準備 ミックスモードのとき、Ⓑボタンを押して、鳴らしたい曲番号を選びます。

Ⓛボタンを押します

➡ 8小節のアレンジ曲が鳴ります。（このときダンス・演奏アニメが表示されます。）

※各アレンジ曲により報音時間は異なります。

※鳴っているアレンジ曲を止めるには、いずれかのボタンを押します。



■アレンジ曲の消去

準備 ミックスモードのとき、Ⓑボタンを押して、消去したい曲番号を選びます。

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

➡ アレンジ曲が消去されます。

※消去後は下記の設定になります。

（アレンジ曲1：リズム01、アレンジ曲2：リズム02、アレンジ曲3：リズム03）



■アレンジしたメロディの判定結果を見る

準備 ミックスモードのとき、Ⓑボタンを押して、見たい曲番号を選びます。

Ⓐボタンを押します ➡ 判定結果を表示します。

※得点はグラフ表示1・2に10段階で示します。

※アレンジをしていないときは表示されません。

※Ⓐボタンを押し続けるとアレンジ曲が消去されますのでご注意ください。

※判定はあくまで目安としてください。

表　示	判定	得点
COOL	最高	10点満点
SOSO	まあまあ	5～9点
ﾊﾝｾｲ	最低	0～4点

3. アレンジをする

設定したリズム・テンポでメロディが鳴りますので、自由にフレーズを組み合わせてアレンジします。

1 フレーズを選びましたら、

Ⓓボタンを押します ➡ <スタンバイ表示>になります。

※もう一度Ⓓボタンを押すと<リズム・テンポセット表示>に戻ります。

・Ⓑボタンを押すと“MUTE”と表示され、音を鳴らさないでアレンジをすることができます。（もう一度Ⓑボタンを押すと“MUTE”が消灯します）

・Ⓐボタンを押している間、設定したリズム・テンポを見ることができます。

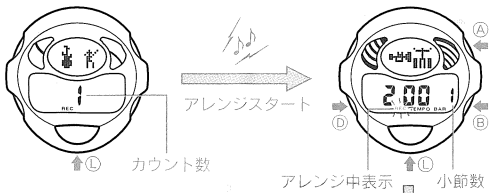
<スタンバイ表示>



2 アレンジをする

Ⓛボタンを押すと4カウント後にリズムが鳴りますので、タイミングよくⒶ Ⓑ Ⓛ Ⓓボタンを押してフレーズを入れていきます。

※Ⓐ Ⓑ Ⓛ Ⓓボタンは続けて押すこともできます。



➡ アレンジ終了後、判定結果を約2秒間表示して、<登録選択表示>になります。

※<登録選択表示>のときにⒶボタンを押すともう一度判定結果を表示します。（「■アレンジしたメロディの判定結果を見る」参照）



3 登録OK/NGを選ぶ

<登録選択表示>のとき、

Ⓑボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとに、“OK”と“NG”とが切り替わります。

※登録するときは“OK”を、登録しないときは“NG”を表示させます。

<登録選択表示>



4 **Ⓛボタンを押します**

➡ “OK”を選んだときは<曲名入力表示>になります。

➡ “NG”を選んだときは“RE TRY”を表示後、<リズム・テンポセット表示>に戻り、アレンジしたメロディは登録されません。

4. 曲名をつける（最大3文字まで）

アレンジしたメロディに曲名をつけることができます。

※すでに登録してある曲名だけを変更することはできません。

1 文字を選ぶ

<曲名入力表示>のとき、

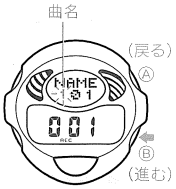
ⒷまたはⒶボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓑ・Ⓐボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。

※入力できる文字は0～9、（スペース）、A～Zです。

<曲名入力表示>



2 セット箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

※Ⓛボタンを押すと、アレンジしたメロディを試しに聞くことができます。（いずれかのボタンを押すと音が止まります。）



上記1～2の操作を繰り返して、曲名を入力します。

3 曲名の入力が終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

➡ 点滅が止まり、アレンジしたメロディと曲名が登録されます。



ご注意

●アレンジ中にⒸボタンを押すと<曲番号表示>に戻ります。
※アレンジしたメロディは登録されません。

●<登録選択表示>のOK状態または<曲名入力表示>のときにⒸボタンを押すと、アレンジしたメロディを登録して<曲番号表示>に戻ります。
※曲名は登録されません。

●アレンジ終了後、2～3分間ボタン操作を行なわないと、アレンジしたメロディを登録して自動的に<曲番号表示>に戻ります。
※曲名は登録されません。

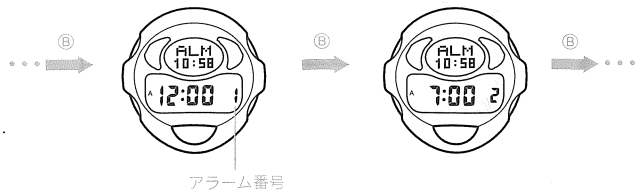
アラームの使い方　Ⓓボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが５本あります。
設定した時刻になるとメロディ*または20秒間の電子音が鳴り、ダンス・演奏アニメが表示されます。
また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。
※ミックスモードでのアレンジ操作中は、セット時刻になってもアラーム・時報は鳴りません。
*メロディはプリセット曲(3曲)とアレンジ曲(3曲)の中から選ぶことができます。

■アラーム時刻の確認

アラームモードのとき、 Ⓑボタンを押します

➡「アラーム1→2→3→4→5→時報→アラーム1…」の順で表示が切り替わります。



アラーム番号

■アラームのON／OFF設定

準備 アラームモードのとき、Ⓑボタンを押して、ON／OFF設定したい表示(アラーム１～５または時報)を選びます。

Ⓐボタンを押します

➡ Ⓐボタンを押すごとにマークが点灯／消灯を繰り返します。(下図参照)
※ONにするときはマークを点灯、OFFにするときはマークを消灯させます。

★表示の見方

<時報表示>

時報ONのとき
点灯します



ONのときは“ON”、OFFのときは“OFF”と表示します

<アラーム表示>

表示しているアラーム番号がONのとき点灯します



アラーム1～5のいずれかがONのとき点灯します

■アラーム音を確かめるには

アラームモードのとき、Ⓛボタンを押すと、選ばれているアラーム音が鳴ります。
※報音中にいずれかのボタンを押すと音が止まります。
※時報表示のときⓁボタンを押すと時報音が鳴ります。

■鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

■アラーム時刻の設定(アラーム音を選ぶ)

準備 アラームモードのとき、Ⓑボタンを押して、設定したいアラーム番号を選びます。

1 Ⓒボタンを約１秒間押し続けます

➡ <アラーム音設定表示>となります。
※このとき、アラームが自動的にONになります。



2 アラーム音を選ぶ

Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

➡ ⒷまたはⒶボタンを押すごとに、アラーム音が切り替わります。
※Ⓛボタンを押すと、選ばれているアラーム音を試しに聞くことができます。(いずれかのボタンを押すと音が止まります。)



★アラーム音は7種類あり、各アラームごとにお好きなアラーム音を設定することができます。
★プリセット曲は機種により異なります。(時計本体裏面にモジュール番号が刻印されています)

アラーム音	アラームの鳴り方	
	モジュール2063	モジュール2065
プリセット曲１ “M-1”	メロディ「やさしい気持ち」を約19秒間報音します。	メロディ「Lovin' you」を約13秒間報音します。
プリセット曲２ “M-2”	メロディ「Duca」を約12秒間報音します。	メロディ「In the summertime」を約12秒間報音します。
プリセット曲３ “M-3”	メロディ「しましまのバンビ」を約19秒間報音します。	メロディ「Baby, I love your way」を約12秒間報音します。
電子音 “BEEP”	電子音が20秒間鳴ります。	
アレンジ曲１ “001”または曲名	アレンジモードで登録されているメロディを報音します。 ※各アレンジ曲により報音時間は異なります。 (詳しくは「ミックスモードの使い方」参照)	
アレンジ曲２ “002”または曲名		
アレンジ曲３ “003”または曲名		

CASIO T-9910247, T-9910248

3 Ⓓボタンを押します

➡「時」が点滅します。



4 Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。
※「時」の午前“A”／午後“P”、24時間制にご注意ください。なお、基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。



5 Ⓓボタンを押します

➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に、Ⓑ・Ⓐボタンを押して数字を選びます。
※もう一度Ⓓボタンを押すと、<アラーム音設定表示>に戻ります。

6 セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分間すると自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方　Ⓓボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

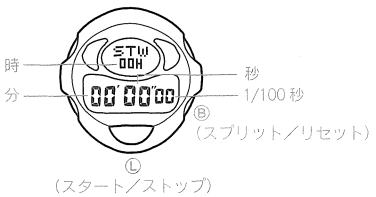
ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。(計測範囲を越えると、自動的に0に戻って計測し続けます)

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、 **Ⓛボタンを押します**

➡ Ⓛボタンを押すごとに計測スタート／ストップします。

※計測中はダンスアニメが表示され、計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯を繰り返します。



★ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⓁボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。(積算計測)

★計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。(SPL点灯)

★計測終了後Ⓑボタンを押すと、計測値が0に戻ります。(リセット)

●通常計測

Ⓛ スタート → Ⓛ ストップ → Ⓑ リセット

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

Ⓛ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓛ ストップ → Ⓑ リセット

●1・2着同時計測

Ⓛ スタート → Ⓑ 1着ゴール(1着タイム表示) → Ⓛ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方　以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■秒の合わせ方…±30秒以内の遅れ／進みの修正

1 時刻モードのとき、

Ⓒボタンを約1秒間押し続けます

➡「秒」が点滅します。



2 **時報に合わせてⒷまたはⒶボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



3 **Ⓒボタンを押します**

➡ 秒の点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。



■時刻・カレンダーの合わせ方

1 時刻モードのとき、

Ⓒボタンを約1秒間押し続けます

➡「秒」が点滅します。



2 **Ⓓボタンを押します**

➡「秒→時→分→年→月→日→液晶コントラスト調整→秒…」の順で点滅が動きますので、設定したい箇所を点滅させます。



3 **ⒷまたはⒶボタンを押します**

➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓑ・Ⓐボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。



上記2～3の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

★「液晶コントラスト調整」のときは、液晶表示の濃淡が7段階で調整できます。

(淡)1 ←… 4 …→ 7(濃)

ⒷまたはⒶボタンを押すごとに、数字が1つずつ進み(戻り)ます。



※「時」の午前“A”／午後“P”、24時間制にご注意ください。

※「年」は1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

4 **セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します**

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウィンドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

薬品類 ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

お手入れについて

お手入れのしかた ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると ●「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。